

砂防ダムを通じて

那賀川中学校一年 やまもと きょう 山本 京

「この地域にも砂防ダムが建設される予定です。」小学校での土砂災害防止教室で講師の先生が教えてくださいました。私の地域ではあまり土砂災害での被害や、実際に土砂災害がおこったなどあまり聞いたことがなかったのでなぜ砂防ダムを作るのか疑問でした。砂防ダムとは、上流から流れてくる土砂をせき止めたり、土砂の流出を防止するためのダムです。このダムがあるということは土砂災害の危険性が高いんだろと思い、どのぐらいおきやすいのか調べてみることにしました。砂防ダムがある場所は土砂災害警戒区域に指定されており、イエローゾーンやレッドゾーンが密集していました。この場所に砂防ダムがあることで周辺に住んでいる人たちもちょっと安心できるなと思いました。でも、いざという時はいつ来るかわからないのでその時のためにちゃんと準備しておかないといけないなと思いました。

私は土砂災害警戒区域を調べてみてすごく怖いなと思ったことがあります。私の家はギリギリ土砂災害警戒区域には入っていませんでしたが、よく友達と遊んでいる防災公園がイエローゾーンに入っていました。この公園は土日は地域の子供たちが遊び場所として利用しているし、平日も子どもセンターの子や放課後遊ぶ小学生たちでにぎわっています。私もよく行く場所で、雨の降った次の日などに遊んだりすることもあるので気をつけたいと思います。また、この公園は防災公園なので災害時での避難場所ともなります。多数の町人がここへ避難してきます。地震がおきて土砂災害がおこったらこの防災公園には避難できなくなります。なので、離れた所の避難場所に避難しなければなりません。そうすると高齢者、小さな子ども、足が不自由な人などは避難するのに時間がかかってしまいます。私の町の津波到達時間は十九分だと言われています。そんな短時間で避難ができるでしょうか。土砂災害がおこった時の被害を考える時はそんな所まで考えていかなくてはいけないなと思いました。

私は砂防ダムを通じて、土砂災害のこと、また、土砂災害がおこった後のことまで考えることができたと思います。私もですが、私の家族はあまり土砂災害のことについて知りません。まずは、私が土砂災害のことについてもっと調べ、もっと知ってたくさん知識を増やして、それから得た知識を家族、ご近所さん、そして地域の方々に広めていきたいです。私は小学校の時に、地域の防災リーダーになれるように、と防災の学習を行ってきました。その言葉のとおり、中学生でも地域のリーダーになれるように、

もっと土砂災害や他の自然災害についても学び、その学びをむだにしないようにしたいです。私の目標は、今年中に防災士の資格をとることです。今は部活とかでなかなか自然災害のことなどを勉強するひまがありませんが、高校や大学、とくに大学に行ったら、防災について深く学んでいきたいです。